



「Springあそびプログラム」の年少児・年中児への実施について

静岡県幼児教育センター



「Springあそびプログラム」は、幼保小接続期、つまり年長児での実施を基本としています。けれども、言葉や文字への関心や感覚は、年長になってから突然育つものではなく、乳幼児期を通して少しずつ培われていくものです。そのため、年少児や年中児の時期から、このプログラムの要素を取り入れていくことも、とても意義のあることです。

実際に、園全体で取り組んでくださっているところもあり、特に年少児への活用方法について「どんな工夫をすればよいか悩む」という声も寄せられています。

そこで今回は、年長児で取り組む「Springあそびプログラム」の前に、年少児・年中児におすすめしたい絵本や手あそびを紹介します。



言葉の音やリズム・抑揚を 楽しむ絵本に触れよう！

〈プロジェクトリーダー赤塚先生おすすめ 絵本〉

○もこ もこ もこ

(谷川 俊太郎 作・元永 定正 絵/文研出版)

○カニ ツンツン

(金関 寿夫 文・元永 定正 絵/福音館書店)

○だるまさんが

(かがくいひろし 作/ブロンズ出版)

○わにわにのおふろ

(小風さち 文・山ロマオ 絵/福音館書店)

○どんどこ ももんちゃん

(とよたかずひこ 作/童心社)

など



これらの絵本では、言葉の音やリズム・抑揚を楽しむことができます。読み聞かせを聞いたこともたちがどのように感じ、反応したり、体を動かしたりするのか、ぜひ見てみてください！



リズムにあわせて 体を動かそう！

〈おすすめ リズム歌等〉

○アブラハムの子

○エビカニクス

○バスごっこ

○てをたたきましょう

○おおきなくりのきのしたで

○アイアイ

○おにのパンツ

○ケンケンパ

など



体を大きく動かし、リズムにのって遊ぶことは、言葉や音を感じ取る力を育てる第一歩です。「Springあそびプログラム」でも、頭の中で考えるだけでなく、体の動きと結びつけることで、ことばのリズムや構造をより深く理解できるようになります。だからこそ、リズムあそびを通して体をたっぷり動かし、音やリズムに親しむことが大切です！



いろいろな手あそびを 楽しもう！

〈おすすめ 手あそび〉

○あたま・かた・ひざ ポン！

○むすんで ひらいて

○とんとんとん ひげじいさん

○グー・チョキ・パー

○げんこつやま

など

Springあそびプログラムで紹介している手あそびにこだわらず、いろいろな手あそびをしましょう！

音に合わせて手拍子をしたり、ポーズをとったりすることが、のちに言葉に合わせて動かすことの土台になります。



日々の生活・保育の中に 取り入れてみよう！

〈モデル園等での取り組み例〉

○部屋の中から「あ」のつくもの探してみよう！

○お片付けで、「と・け・い」は「1・2・3」

今日は、ひとり3つボールを集めよう！

○タンブリンやカスタネットをたたいてみよう！

年少さんでは、「あ」のつくもの探しをして、「あり！」「じゃあ～、カマキリ！」「とんぼもいるよ」と、昆虫シリーズになることもあると思います。そんな時は、『そうじゃないよ、今は違うでしょ』と、修正する必要はありません。『今日は虫さんがたくさん見つかったね』と、こどもたちの声を受け止めましょう。きっと遊びを続ける中で、こどもたちの中から、「それ“あ”じゃないね」という声が出てくるはずですよ。

こどもの気づきと一緒に、遊びが発展していくといいですね！

こどもの“たのしい！おもしろい！”を大切に取り組みましょう。